

平成27年度 村上市小学校教育研究会体育部 活動報告

部長 中川 豊

1 研究主題 「学習指導要領が求める体育授業のあり方を探る」

2 今年度の活動

- (1) 第1回体育部会 研究主題，事業計画決定 4月28日(火) 村上総合文化会館
- (2) 第2回体育部会 指導案検討会 8月21日(金) マナボーテ村上
- (3) 第3回体育部会 研究授業 12月3日(木) 村上南小学校

- 単元名： マット運動（6学年）
- 授業者： 村上市立村上南小学校 教諭 本間 仁
- 指導者： 関川村立関川小学校校長 鈴木 政信 様

3 研究の実際

(1) 研究授業について

授業者は、集団達成の喜びを児童に実感させたいという思いで、シンクロマットを取り入れた授業実践を行った。本時の授業においては「認め合いシンクロするためポイントを意識しての構成を考慮することができる。」ことをねらいとし、以下の手立てを講じて実践を行った。

【指導場面での工夫】

- ① 学習カードの工夫
 - ・ 各時間で個人とグループでの課題を持たせ、それぞれ振り返りができるようにした。
- ② 学習資料の工夫
 - ・ シンクロの仕方を理解できるような図を用意して掲示し、イメージがふくらむようにした。

【グループでの豊かな関わらせ方の工夫】

- ① グループ編成と関わらせ方の工夫
 - ・ 4グループを作り、2グループごとに兄弟チームになり、シンクロタイムでは認め合いや教え合いができるようにした。
 - ・ ホワイトボードを用い、図や言葉でシンクロの構成を考えられるようにした。
- ② 認め合いや教え合いの言葉の明確化
 - ・ 認め合うためや教え合うためにどのような言葉や態度があるのかを考えさせて掲示した。また、よりよい関わり合いについて紹介をした。



(2) 協議会について

- ① シンクロマット運動をするための大切なポイントを確認したり、ホワイトボードを使ったりしたことは、児童が意欲的に取り組むために有効であったか。
- ② 動画を撮影して演技を確認することは、シンクロマット運動の演技の向上に有効であったか。
 - ・ ホワイトボードを使用したことで、児童が共通の認識をもって練習することができた。書き込みをすることで、演技の完成度を上げることもつながった。
 - ・ 撮影した動画をよく見ており、それがフィードバックされて演技の向上につながった。しかし、撮影者の運動量が確保できなくなってしまうので、カメラを固定するなど工夫を取り入れるとよい。

4 成果と課題

- 指導案検討会や、授業実践を通して研究主題に迫ることができた。学習指導要領が求める「生涯にわたって運動に親しむ」ためには、技能の向上と、今回の授業実践のように集団達成の「喜び」を感じさせることが必要だということを部員で共通理解することができた。